

# 酒とパソコンと少々ミルク

## さようならWindowsXP

成光 昭男

昨年12月13日に警察庁から「平成26年4月のサポート終了後に Windows XP を使用することの危険性」と言う文書が公開されました。

文書の内容を要約すれば、サポート終了後に Windows XPを使い続けると極めて危険であり、「メーカーによるサポートが提供されている OSを使用してください。」と言うことです。これは、放置しておくことはできません。

我が家にはPCが3台ありますが、私の業務用のPCはWindows7で、残り2台がXPマシンです。補助的に主にインターネット専用機として使っているのですが、対策を立てなければなりません。1台は平成18年に購入したデスクトップ、もう一台は、平成21年11月に購入した中古のネットブックです。

実はWindows XPのサポートは平成21年4月で終了する予定であったのを、5年延長されていました。

中古のネットブックを購入する時点ではすでにそのことを認識しており、あと5年は使えるのであれば、中古でも十分であると判断して、当時あまり評判が良くなかったVistaではなく安い中古品に手を出した訳で、いつかWindows XPが使えなくなる日が来ることは覚悟をしていました。しかし、いよいよその日が近くなりました。

さて、対策ですが、新しいPCに買い換えれば簡単だし、それが真っ当な対策なのでしょうが、かなりの出費にもなるし、貧乏性の私は無償でなんとかならないかと考えLinuxをインストールすることになった次第です。

1台目のデスクトップは省スペースの一体型、もっぱらWebの閲覧に使っています。ですから、インターネットにさえつながれば良い訳ですが、これがなかなかの曲者で、すんなりとインストールができません。

「これだから、Linuxユーザーは増えないんだ

よな。」とブツブツこぼしながら、十数時間の格闘が続き、ようやく起動できるようになることはなりました。

しかし、通常に起動ができずに、少し変わった方法で起動すること、操作方法がこれまでのPCとは変わったことから、例の研修生が後ろの方で「どてらんこてらん」と文句を言っています。

2台目のネットブックは私専用で外出時のメールチェック、WEB管理、WEB閲覧等に使用しているもので、DVDドライブが無いのでインストールに手こずるのではないかと覚悟をし、無理な場合は今流行のiPadに換えかえる良い口実ができるとの考えが頭を過ったのですが、意に反して、USB起動をさせるのに少し手間が掛かったくらいで、案外あっけなくインストールが終了、メーラー、Wi-Fiの設定もすんなりと終わりました。まだ使い込んでいませんが、元のXPの時よりも快適に使えるような気がします。

Windows XPは12年半にもわたる長期のサポートが続きましたが、物には始まりがあれば、終わりもあります。慣れ親しんだ環境と別れるのは辛いのですが、新しい波に乗って行かなければならないのでしょうかね。

これまでの流れを変えて、新しい取り組みを始めるためには、どうしても少しは痛みが伴うものなのでしょうね。それでも、この経験は決して無駄にはならないと自分に言い聞かせ、久しぶりにパソコン三昧の数日を過ごしたのでした。

この原稿を書きながら、1台目のデスクトップの状況を改善しようといじっていたら、いよいよどうにも動かなくなり、また一からやり直しです。

やっぱり、買い換えないといけないのでしょうか。例の研修生がにやりと笑います。